

## メタ認知で「チェックせんばんた〜い」!?!?

メタ認知とは、「自分の考えること、感じること、記憶すること、判断することなどを客観的に認知すること」です。自分自身を超越した場所から客観的に見ることを加えて、自分自身をコントロールでき、冷静な判断や行動ができる能力までを含めて、メタ認知能力と呼ばれています。

「突然、どうしてメタ認知?」と思われた先生もいるかもしれません。子どもが自分を客観視できるようになると、主体的に学習に向かう態度が身に付き、成績アップにつながると言われているんです!!

メタ認知には、「メタ認知的知識」と「メタ認知的活動(技能)」の2種類があります。

「メタ認知的知識」とは、自分は何が得意なのか、目の前の課題で求められていることは何か、その課題にどう取り組めばよいか、などについての知識のことです。

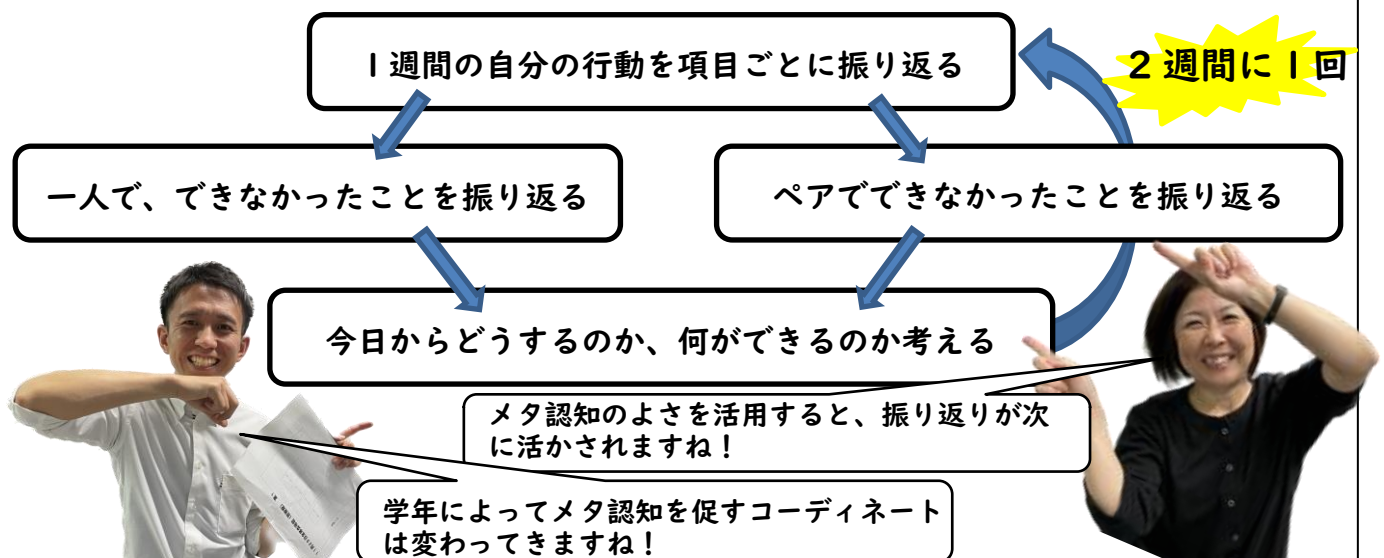
もう1つの「メタ認知的活動(技能)」とは、メタ認知的知識をもとに、実際に活動しながら、自分に合ったやり方に絶えず改善していく力のことです。

この2種類の力を使うことで、学習や活動でより成果を出すことができますようになります。

(ベネッセ教育情報より一部抜粋)

実は、私たち教師も日々の学習活動や生活活動で、「メタ認知」を鍛えることを行っています!そうぞす!授業の終末に行く、**振り返り**です!振り返りでは、授業でわかったことや、自分がこれからどうしようとするのか、どうしたいのか、何を疑問に思ったのかなどといったことを考えます。その活動によって、自分を客観視し、**次取るべきよりよい方法を考える力**を養っているのです。

また、「**チェックせんばんた〜い**」もその一つだと考えます。でも、ただ、できていることだけに印をつけるのでは効果はありません!!ここで重要になるのは、**教師のコーディネート!**



水曜日からまた、「**チェックせんばんた〜い**」が再開します!振り返りの仕方を工夫して取り組んでみてください!環境が変化するだけでなく、メタ認知能力も向上するかもしれません!